

課 題	主 な 意 見	関 係 す る 機 関	回 答 等	
議事-(1) 前回合同会議の 検討経過の概要	(1) 概要報告 (2) 前回の意見等 に対する回答	※特に意見等はなかった。	WG事務局	※修正点などは事務局に連絡し、反映させる。
議事-(2) ヤクシカの現状に ついて	(1) 生息状況・捕 獲状況・各種モニ タリング状況につ いて	①区分10、3の個体数の減少が捕獲によらないのであれば、さらにインテンシブにモニタリング続ける必要がある。自然に減少というのであればなぜ減ったか原因を考える必要がある。長期にわたって致命的な要因が何か。ただ気象変動による一時的な現象なのか、慎重に見た方がよい。 ②標高が高いところでのシカの行動があまりわかっていないので今後の課題として取り組んでほしい。	環境省 林野庁 鹿児島県	①②今後、予算等のからみもあり今後ご助言をいただきつつ、関係機関で検討して参りたい。
		①糞塊法の結果と糞粒法の結果、糞粒法を見ると軒並み下がっているところが多くて、糞塊法と合わせてみたとき、一致するのかわかるのか。	環境省	①次回のWGにおいて、相関関係についてはご報告して参りたい。
		①糞粒法にしても糞塊密度調査にしても、気温・年によって違うので、調査の時期が一定で行っているかが重要。環境省の調査は10月と記載があるが、県の資料では調査日の記載がない。10月以降、気温が低下してくる時期になるので、できるだけ調査日を入れていただくのが良い。	鹿児島県	①ご助言のとおり、調査日を表記して参りたい。
	(2) 平成29年度ヤ クシカ捕獲状況	①捕獲のやり方、取り組みについて。個体数が減ったとしてこれからどのように維持するのか、捕獲の手法、体制も変わってくるので、今までと同じやり方だと増加する可能性も否定できない。トラップシャイのような個体をちゃんと狙って確実に捕獲していく、という発想の転換も必要。	4行政機関	①捕獲について、ご助言をいただき、4行政機関で検討して参りたい。
議事-(3) 平成29年度及び 30年度の取組に ついて	(1) 屋久島町にお ける鳥獣被害防 止対策	※特に意見等はなかった。	屋久島町	
	(2) シャープシュー ティングによるヤ クシカ試験捕獲	①捕獲を続けて発砲音をかなり嫌がるようになってしまったり、車の音に対する警戒心は増える可能性があるため、そのあたり配慮してほしい。 ②その後どういう反応をしたか見るということ。いくら気をつけても警戒心が上がっていく。こういうモニタリングをしながら人間の方が警戒心を先取りして戦略・戦術を立てていくことが大事。 ③どのようにシカを獲ったかという段取りだけではなく、獲ってどういう効果があったか、植物にどういった効果があったかを含めて、捕獲全体と計画していただきたい。	環境省	①②ご助言を踏まえ、対応して参りたい。 ③保護地域管理計画作成の際に、ご助言のような組見立てを検討して参りたい。
	(3) 計画捕獲に向 けた捕獲手法の 検討	①日本全体がジビエということで突っ走っている風潮はある。被害管理・個体数管理の部分の足を引っ張っているという側面が出てきている。その点については予防線を張っておいて、何が優先事項なのかを常に忘れないでほしい。 ②サルの捕獲数が多い。シカを獲れ獲れという雰囲気になっていて、つられてサルを獲りすぎないようにしていただきたい。密度がシカと同じように増えるわけではなく、対策もかなり変わってくるはずなので、シカと同じロジックでやらないように是非お願いしたい。 ③管理目標を立てて計画的に取り組んでいるが、それが一般の住民の方に広くオープンに情報が伝えられていないことが大きな問題。最優先順位、目的の明解化、住民への周知、広報が行われないと世界遺産の管理、シカの捕獲の対応にしても一般の住民に見えてこない。住民が持っている疑問点にもきちんと答えしていく必要がある。	4行政機関	①②ご助言に留意しながら、4行政機関で対応して参りたい。 ③今後、ご助言踏まえて関係行政機関で検討し、進めて参りたい。

		①ヤクシカの捕獲ないし、管理計画をもってシカを獲っていくことに対する意味づけ、住民に対しても広報誌にして周知していく必要がある。屋久島町の責任として意識してやられたらどうかとお願いしたい。	屋久島町	①周知を行うことで、住民の方に捕獲方法及び計画頭数に対する不安感を抱かせる恐れがあるため、周知に関しては慎重に方法を検討していきたい。
	(4)鹿児島県のヤクシカ対策について	※特に意見等はなかった。	鹿児島県	
	(5) 国有林におけるヤクシカ対策について	①研究者の調査が及ばないところなので、カメラトラップは有効な手段。目的を持って活用する方法を考えた方がよいのでは。	林野庁	①今後、委託契約に向けて、検討して参りたい。
議事－(4) 生態系管理の目標について	(1) 屋久島森林生態系管理目標策定に向けて	①研究者サイドから、生態学会誌に話題提供するという点で、各委員にも相談に乗っていただき、文書をまとめたい。	林野庁	①引き続きご助言をいただきつつ進めて参りたい。